

経済学とは

- 希少な財を代替的な手段をもちいて配分することを研究する
- 財とは something good potentially for economic agents (経済主体にとって潜在的に良いと思われる何か)
- 財は、有体か無体かは問わない(無体財をサービス・用役とよぶ)

ミクロ経済学とマクロ経済学

- ミクロ経済学は、各財ごとの配分を、各経済主体の自発的な意思決定から説き起こして経済全体にまでつなげる
- マクロ経済学は、経済で配分された各財の数量を価格を掛け合わせた得た価値額 = 集計量を中心にすえて、経済の活動水準の決定機構を考える

国民経済計算

- 活動水準を表す，GDP, 国民所得，国内総支出，消費支出，固定資本形成 etc. などを統合的に推計する体系
- クズネッツやストーンらのノーベル経済学賞学者によって，この半世紀くらいに整備された
- 根幹は，財の最終処分主体である消費者の厚生を測定しようとするところにある
- 消費者の厚生 = 満足の総体を，観察されたさまざまな消費財への支出データからどのように統合的に測るかに，工夫がある

GDP

- GDP(gross domestic product) は，国民経済計算において主要な集計量である
- ある一定期間に，最終処分された生産財の価値（数量 × 価格）を総和したものである
- ここで最終処分とは，消費者の行う財の処分と，生産者の行う資本形成（投資）のための処分を指す
- 消費者の処分は直接的に厚生 = 満足を高める分を補足するために計算にいれる
- 資本形成を処分に含めるのは，その期間に形成された資本が来期以降，消費財の生産の増加に貢献する部分を先取りするためである